

日本組織培養学会



会員通信

第143号

令和2年1月6日

発行者

* 森 一憲 (昭和大学)

* 責任者連絡先

〒142-8555

品川区旗の台1-5-8

昭和大学 薬学部 基礎薬学講座

腫瘍細胞生物学部門

TEL: 03-3784-8209

E-mail: mori@pharm.showa-u.ac.jp

目次

1. 年頭のご挨拶	2
2. 日本組織培養学会 第93回大会 (2020年) のお知らせ	2
3. 第93回大会 奨励賞申請と発表について	7
4. 第93回大会 English Presentation Award (EPA) 応募案内	9
5. 委員会報告	10
1) 細胞培養基盤教育委員会	
2) 編集委員会	
3) テクニカルアーカイブ委員会	
4) 学会運営改革委員会・選挙管理委員会	

1. 年頭のご挨拶

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

昨年より令和という新しい時代になり、現執行部も残り約1年で新しい学会運営組織にバトンタッチすることになります。昨年の第92回大会は大会長の筒井健夫先生を始め大会実行委員会の先生方のご尽力により、過去類を見ない参加者数を達成し大変盛況な大会となりました。いずれの学会も会員数の維持には頭を痛めている中、本学会はわずかではありますがここ数年実働会員数の増加が続いており、財務体質も以前よりは比較的安定してきております。既に会員通信第142号でもご報告した通り、今後の本学会の発展をさらに確実なものとするため、第92回大会の総会でご承認いただきましたように、次期執行部を理事制とし役員数も増員することとなりました。これにより役員選挙の手続きも改定させていただいております。詳細は本会員通信の後段でご報告させていただきますが、本学会の将来を決めるための大事な選挙ですので、会員の皆様にはぜひ積極的にご参加いただけますようお願いいたします。

また本年6月6～10日にはサンディエゴにおいて"2020 World Congress on In Vitro Biology" が開催されますが、6月7日13:30より本学会と日本動物実験代替法学会との共催で"New Approach Methods for Drug Discovery in Japan" というジョイントセッションが実施されます。"World Congress on In Vitro Biology"は4年に1度開催される国際会議で、本学会はこれまでも定期的に開催を続けてきております。比較的小規模な学会で、細胞培養分野の研究者ともコミュニケーションがとりやすいので、若手の研究者の国際会議デビューにも適しており、会員の皆様にはぜひ積極的に参加をご検討いただけますようお願いいたします。

本年の大会は、広島大学の藤井万紀子先生に大会長の労をお取りいただき、7月2～3日に広島大学霞キャンパスの広仁会館で開催されます。例年通り最先端のシンポジストの講演はもちろんですが、今回は本学会の名誉会員で日本学術振興会学術システム研究センター相談役の黒木登志夫先生の特別講演も拝聴できる予定となっております。既に大会ホームページもオープンし、演題募集も始まっておりますので、会員の皆様におかれましては、ぜひ奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

最後になりますが、今年一年本学会会員の皆様のご壮健で、研究がますます発展されることを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

会長 浅香 勲

2. 日本組織培養学会 第93回大会(2020年)のお知らせ

令和という新元号となって初めての新年を迎えることとなりました。振り返ってみれば、平成の時代には多くの細胞技術が開発され、生命科学の多くの分野でそれぞれ劇的な進歩が認められました。新しい時代を迎え、益々の研究の発展を願いつつ、日本組織培養学会としても学術分野や社会のニーズに対して、細胞培養技術の普及活動を土台に更なる貢献ができればと気持ちを新たにしております。

日本組織培養学会第93回大会を広島大学霞キャンパス内、広仁（こうじん）会館（広島市南区霞1-2-3）において2020年7月2日（木）、7月3日（金）の2日間の日程で開催致します。近年の目覚ましい科学技術の発展により、多くの疾患の原因が究明され、新規治療法も続々と開発されております。細胞培養技術はがん研究領域では多岐にわたる治療法の開発研究に大きな役割を果たしており、いくつかのがん種で認められる近年の急激な治療成績の向上は、長年にわたる多くの研究者の努力が花開いた結果とも言えます。また、再生医療分野でも細胞培養技術は重要な研究基盤技術の一つであり、今後医療現場で予測される多くの新規治療法への道筋を、土台として支えていくこととなります。新たに開発された技術と細胞培養技術が融合し、これまで不可能だと思われていたことが次々と可能となっていく、そのような未来が今後も予測されます。今大会に参加される皆様に、医学の発展を支える細胞培養技術の現在を感じて頂きたいと考え、第93回大会では「技術が切り拓く多彩な未来 ～医療現場への道筋～」をテーマと致しました。

一方、近年の生命科学研究の進展の影で、剽窃、盗用、改ざんといった研究不正が世界的に問題になっており、研究倫理の遵守がますます重要になってきております。そこで、本大会では、特別講演者として日本学術振興会学術システム研究センターの黒木登志夫先生をお招きして、細胞培養研究の流れ、そして今に生きる研究者たちが身に付けておくべき研究倫理についてお話しいただくことになりました。シンポジストとしては、現在本邦において細胞培養技術に関連する様々な分野での第一線でご活躍中のご高名な先生方をお招きして、『培養細胞が切り拓くがん治療研究』『iPS細胞を用いたがん免疫療法』『革新的イノベーションがもたらす新研究領域』『iPS細胞を用いた再生医療への道筋』という4つのテーマを掲げさせていただいております。

今大会では、前回大会と同様に、次世代の生命科学研究の担い手となる大学院生を対象とした学会入会の有無を問わないGraduate Students Sessionを企画しています。また、学会参加者以外の学生や教職員、医師、歯科医師の方々にも自由に企業ブース展示場やランチョンセミナー会場に入場していただけるよう広報を行い、ご支援くださる企業の方々との交流の場を提供できればと考えております。参加者の皆様の研究に役立つ多くの議論が行われる、意義深い大会になればと考えております。皆さまのご参加をこころよりお待ちしております。

広島大学大学院 医系科学研究科
国際歯科医学・分子腫瘍学部
教授 藤井 万紀子

大会概要

- 大会長： 藤井 万紀子（広島大学大学院 医系科学研究科 国際歯科医学・分子腫瘍学）
テーマ： 技術が切り拓く多彩な未来 ～医療現場への道筋～
会期： 2020年7月2日（木）・7月3日（金）
会場： 広島大学霞キャンパス内 広仁会館（こうじんかいかん）（広島市南区霞1-2-3）
懇親会： 2020年7月2日（木）

日本組織培養学会 第93回大会実行委員会

実行委員長：藤井 万紀子

実行委員：浅香 勲 (京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) 基盤技術研究部門 教授)
安井 弥 (広島大学大学院 医系科学研究科 分子病理学 教授)
二川 浩樹 (広島大学大学院 医系科学研究科 口腔生物工学 教授)
森 一憲 (昭和大学 薬学部 基礎薬学講座 腫瘍細胞生物学部門 講師)
林 洋平 (理化学研究所バイオリソース研究センター iPS 細胞高次特性解析開発
チーム チームリーダー)
峯 裕一 (広島大学大学院 医系科学研究科 医療システム工学 講師)
坂本 直也 (広島大学大学院 医系科学研究科 分子病理学 助教)
深見 陽子 (広島大学大学院 医系科学研究科 国際歯科医学・分子腫瘍学)

協力者：小原 有弘、片岡 健、西條 薫、嶋本 顕、須藤 和寛、筒井 健夫、中村 和昭、
松木 亨、三村 純代 (五十音順)

[特別講演]

黒木 登志夫 先生 (日本学術振興会 学術システム研究センター 相談役)
Transformation from an oncologist to a misconductologist

シンポジウム 1 『培養細胞が切り拓くがん治療研究』

田原 栄俊 先生 (広島大学大学院 医系科学研究科 細胞分子生物学 教授)
山崎 聡 先生 (東京大学 医科学研究所 幹細胞治療研究センター 特任准教授)

シンポジウム 2 『iPS 細胞を用いたがん免疫療法』

田中 友加 先生 (広島大学大学院 医系科学研究科 消化器・移植外科学 准教授)
金子 新 先生 (京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) 増殖分化機構研究部門 准教授)

シンポジウム 3 『革新的イノベーションがもたらす新研究領域』

弓削 類 先生 (広島大学大学院 医系科学研究科 生体環境適応科学 教授、
広島大学 宇宙再生医療センター センター長)
山本 卓 先生 (広島大学大学院 統合生命科学研究科 理学・分子遺伝学 教授、
広島大学教育研究施設 ゲノム編集イノベーションセンター センター長)

シンポジウム 4 『iPS 細胞を用いた再生医療への道筋』

堀田 秋津 先生 (京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) 臨床応用研究部門 講師)
永樂 元次 先生 (京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 生命システム研究部門
発生システム制御分野 教授)

- 奨励賞対象演題
- English Presentation Award
- 細胞培養基盤教育委員会主催講習会
- Graduate Students Session
- 一般発表・ポスター発表
- ランチョンセミナー
- 総会

奨励賞対象演題の募集

奨励賞対象演題に応募される方は、指定の申請書類を2020年2月10日(月)までに電子メールにて提出してください。

- 第93回大会ホームページ <http://jtca.umin.jp/meet/y2020/index.html>
- 奨励賞対象演題募集について http://jtca.umin.jp/shourei/shourei_index.html
- 学会ホームページ <https://www.jtca.net/>

一般演題(口頭発表、ポスター発表)・Graduate Students Session (GSS)・English Presentation Award Competition (EPA) の募集

第93回大会ホームページの「演題登録」Webページより指定様式(Wordファイル)に演題抄録を入力し、電子メールにてご提出ください。詳細は第93回大会ホームページならび「演題登録」Webページをご確認ください。English Presentation Award (EPA) 演題登録ご希望のかたは、「EPA」Webページにて規定をご一読ください。

- 「EPA」Webページ http://jtca.umin.jp/EPA/EPA_index.html
- 演題登録期限 : 2020年4月10日(金) 締切厳守

参加費について

事前登録方法につきましては、追って第93回大会ホームページ上にてお知らせ致します。

	会員種別	大会参加費	懇親会参加費
事前登録	一般会員*	6,000円	4,000円
	学生会員*	3,000円	3,000円
	非会員	8,000円	5,000円
	学生非会員	4,000円	4,000円
当日登録	一般会員*	7,000円	5,000円
	学生会員*	4,000円	5,000円
	非会員	10,000円	6,000円
	学生非会員	5,000円	5,000円
	名誉会員	無料	

*一般会員および学生会員には、日本動物実験代替法学会会員および同学会学生会員が含まれます。

日本組織培養学会 第93回大会 大会事務局

〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3

広島大学大学院 医系科学研究科

国際歯科医学・分子腫瘍学内

Tel /Fax : 082-257-1503

E-mail : jcta93th@hiroshima-u.ac.jp

3. 第 93 回大会 奨励賞申請と発表について

教育・奨励賞担当幹事 筒井 健夫・中村 和昭

第 93 回大会奨励賞申請についてご案内いたします。日本組織培養学会奨励賞は 40 歳以下の若手研究者を対象としており、将来性ある若手研究者の研究を奨励し、本学会の活性化を図ることを目的としております。若手研究者の皆さまにはその受賞を目指して、第 93 回大会でも多数の奨励賞演題の応募を期待しています。

1. 申請資格

- 申請時に日本組織培養学会の会員であること。
- 2020 年 4 月 1 日現在で 40 歳以下であること。
- 今大会にて発表する奨励賞応募演題の筆頭発表者であること。
- 日本組織培養学会 奨励賞を未受賞であること。

2. 応募方法

申請用紙を本学会ホームページよりダウンロードしてご記入ください。申請書類には、本学会評議員の推薦状が含まれます。推薦者の捺印や直筆サインは不要ですが、必ず推薦者の承諾を得てください。申請書類を電子メール添付にて「6.問い合わせおよび申請書送付先」宛てに送付してください。書面審査の上、奨励賞演題の登録可否を通知いたします。奨励賞演題の登録が認められた場合、大会ホームページから演題抄録の登録を行っていただきます。奨励賞演題の登録可否の通知は 3 月中旬を目途に行います。

申請用紙ダウンロード: http://tca.umin.jp/shourei/YIA-ApplicationForm_2020.docx

3. 応募〆切

2020 年 2 月 10 日 (月)

※奨励賞演題登録が認められる前に抄録登録は行わないようお願いいたします。

4. 発表形式

今後、ウェブサイトの大会ホームページにて詳細をご案内いたします。なお、前回大会においては、口頭発表 (7 分) とポスター前での発表を行っていただきました。

5. 受賞者の皆様へのお願い

受賞者は以下の学会活動へのご協力をお願いします。

- (1) 会員通信へ「受賞の感想」を寄稿する。
- (2) 受賞題名に関連する論文 (原著または総説) を本学会機関誌 (Tissue Culture Research Communications) に投稿する。

6. 問い合わせおよび申請書送付先

筒井 健夫 (E-mail; ryuryu@tky.ndu.ac.jp)

日本歯科大学生命歯学部

薬理学講座

Young Investigator Award (YIA), Application and Presentation

1. Applicants must meet the following criteria

Be the member of "Japanese Tissue Culture Association".

Be equal to or less than 40-year-old on April 1, 2020.

Be the first author of presentation of title applied for young investigator award.

Did not receive "Young Investigator Award of Japanese Tissue Culture Association" previously.

2. Presentation

The style of presentation will be announced in the "The 93rd Annual Meeting Website". For reference, the style of presentation in 2019 meeting was 7-min oral presentation and discussion on poster display.

3. Awardees are requested;

(1) to submit the comments of impression for getting the Young Investigator Award to News Letter of Japanese Tissue Culture Association soon after the Annual Meeting,

(2) to submit the paper (regular articles or review articles) to "Tissue Culture Research Communications" by the consistent title applied to Young Investigator Award after the Annual Meeting.

4. Application

Download the application form from JCTA website. Please fill the form and apply to the below address by e-mail. Please keep in mind that this form includes the testimonial written by councilor of Japanese Tissue Culture Association. After the acceptance and approval of application, you will be requested to submit the abstract through online registration in the Annual Meeting website.

Download: http://itca.umin.jp/shourei/YIA-ApplicationForm_2020.docx

5. Deadline of application.

February 10, 2020

Please do NOT submit to online registration BEFORE the approval of application by YIA office.

6. Address.

Inquiry and an application form to

Takeo Tsutsui, Ph.D.

Department of Pharmacology

School of Life Dentistry at Tokyo

Nippon Dental University

E-mail: ryuryu@tky.ndu.ac.jp

4. 第93回大会 English Presentation Award (EPA) 応募案内

会員の国際的発信能力の増進を奨励し、本学会の活性化を図るため、2014年の幹事会で設置が承認され、2015年の第88回大会（広島）から開始されました。選考規定に従いご応募ください。

●日本組織培養学会 English Presentation Award (EPA) 選考規定

第1条 名称: 日本組織培養学会 English Presentation Award (略称 EPA) と称する。

第2条 目的: 会員の国際的発信能力の増進を奨励し本学会の活性化を図る。

第3条 受賞対象: 本学会の会員であり、本学会大会の EPA 対象応募演題（口頭発表）の筆頭学術発表者であって、要旨記述ならびに口頭発表を英語で行った者。尚、受賞者は再度応募出来ない。

第4条 発表期限: 当該年度の本学会大会で発表されたものに限る。

第5条 応募方法: 演題申込時に EPA 応募の旨を明記する。尚、応募の期限は演題申込締切日とし、応募演題は一人一題に限る。

第6条 選考: 大会長に一任する。

第7条 表彰: 本学会の総会時に発表し、賞状ならびに副賞を贈呈する。

第8条 改訂: 幹事会で行う。

附則: 本選考規定は平成28年度から実施する。

The criterion for English Presentation Award (EPA)

1. Nominal: English Presentation Award abbreviated as EPA of the Japanese Tissue Culture Association (JTCA).
2. Purpose: To encourage the JTCA members to present research achievement in English with the aim of transmitting JTCA activities internationally.
3. Candidate: Must be a member of JTCA and a first author of the oral presentation in the annual meeting of JTCA. Abstract should be written in English and presentation as well. Previous awardees are precluded.
4. Application: Specify the request of nomination at the time of abstract application. One application per each author.
5. Discretion: The relevant meeting president is responsible.
6. Commendation: Awardees are announced at the general meeting of the annual meeting and sent an award certificate and an extra prize.
7. Revision of the criteria: Executive members of JTCA are responsible. Supplement: This criteria is enforced at January, 2016.

5. 委員会報告

細胞培養基盤教育委員会活動報告

細胞培養基盤教育委員会 委員長 片岡 健
(岡山理科大学)

日頃より日本組織培養学会細胞培養基盤教育委員会の活動へのご理解・御協力をいただき感謝しております。

今年度は講習内容の改訂に伴い、前半の基盤技術コースが開催できず受講希望の会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。皆様のご協力で夏以降コースⅠ、コースⅡともに再開することができましたが、まだテキストの改訂が進んでおらず配布するプリントを用いての講習となっております。テキストの改訂版の出版に向けて準備を進めておりますので、もうしばらくお待ちください。

細胞培養士認定試験を含むコースⅢの開催は例年通り、3月に京都大学 iPS 細胞研究所で行います(3月7日に開催、2月7日まで申込受付)。

また基盤技術コースは平成28年度より、前年度中に入会した会員を対象とすることにいたしました。会員の皆様のラボに基盤技術コース受講を希望している未入会の方がおられましたら、この点に注意するようにお伝えください。詳細につきましては会員通信第134号に詳しい説明がございますので、そちらをご確認ください。

今後とも会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

編集委員会活動報告

編集委員会 委員長 浅香 勲
(京都大学 iPS 細胞研究所)

昨年は総説1報のご投稿をいただき、8月末に公開になりましたが、現在投稿が途切れている状態です。会員の皆様には、ぜひ積極的なご投稿をお願い申し上げます。

テクニカルアーカイブ委員会活動報告

テクニカルアーカイブ委員会 委員長 浅香 勲
(京都大学 iPS 細胞研究所)

テクニカルアーカイブ委員会では、現在名誉会員の間中研一先生のご協力により、会員通信第58～89号について国会図書館の複写サービスを利用して入手しているところです。また第1号から第57号については現在編集中で、暫定的ではありますが閲覧可能な状態となっております。会員通信は本学会学術誌の「組織培養研究」よりも歴史が古く、過去の大会の情報や運営体制等本学会の沿革を知るための貴重な資料となっております。興味がある方はぜひご一読ください。

学会運営改革委員会・選挙管理委員会活動報告

学会運営改革委員会 委員長 小原 有弘

(国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所)

選挙管理委員会 西條 薫、林 洋平

(国立研究開発法人 理化学研究所バイオリソース研究センター)

<活動概要>

学会運営改革委員会においては、学会活動をスムーズに運営するために必要な業務改革等を進めております(法人化スケジュール参照)。2019年に改正した会則および細則に基づき、次期役員選挙の実施に向けた準備を行いました。

<法人化スケジュール>

2019(令和元)年7月	総会にて会則の変更
2019(令和元)年8月	臨時幹事会にて細則の変更
-----実施済み-----	
2020(令和2)年1月	変更細則施行
2020(令和2)年3月	次期執行役員選挙実施(理事18名選出)
2020(令和2)年4月	理事の互選により代表理事を選出 現執行役員と次期執行役員による拡大幹事会実施 法人化に向けた定款案の策定 法人所在地候補の調査 法人化のための公証役場、司法書士、弁護士等との相談
2020(令和2)年7月	日本組織培養学会第93回大会 総会において法人化における定款案の承認
2020(令和2)年8-3月	法人登記(代表理事、理事による) 日本組織培養学会 評議員(社員)の選任及び承認
2021(令和3)年4月	次期執行役員による学会運営開始

<次期執行役員選挙に関して>

会則・細則改正に伴い、次回3月に実施予定の次期執行役員選挙に関して以下のスケジュールおよび内容で選挙を実施いたします。

<次期執行役員選挙のスケジュール>

2020(令和2)年1月1日 選挙権・被選挙権保有者の確定

○選挙権保有者：2020(令和2)年1月1日現在における正会員と学生会員

○被選挙権保有者：理事就任の日、即ち2021(令和3)年4月1日において満62歳未満の正会員

2020 (令和 2) 年 1 月 10 日 公示および立候補者の立候補受付開始
2020 (令和 2) 年 2 月 20 日 立候補締め切り
2020 (令和 2) 年 3 月 10 日 立候補者リストおよび投票用紙の郵送
2020 (令和 2) 年 3 月 25 日 投票締め切り (消印有効)
○選挙管理委員が選挙立会人の立会いの下、開票作業等を実施
2020 (令和 2) 年 3 月 31 日 次期執行役員の確定

選挙の公示は 2020 (令和 2) 年 1 月 10 日に日本組織培養学会ホームページ (<https://www.itca.net/election/>) ならびに日本組織培養学会ニュースとしてメールにて公示を行います。

<選挙の方法>

次期執行役員選挙は理事を 18 名選出します。これまでの選挙とは異なり、理事への立候補者の届出を受け付け (2 月 20 日 (必着))、18 名以上の立候補者があった場合に立候補者の中より 18 名選出する形で選挙を行います。

立候補に必要な書類はホームページ (<https://www.itca.net/election/>) より書式をダウンロードすることが出来ます。立候補届は書式に従って作成頂き、書留郵便 (2 月 20 日必着) にて選挙管理委員会事務局まで郵送ください。

選挙は所定の投票用紙を用いて実施します。立候補者リストの中から 18 名を投票用紙に記入し、郵送にて期日 (3 月 25 日 (消印有効)) までに選挙管理委員会事務局宛に投票して頂きます。投票においては、白票や 18 名未満の記載は有効票としますが、同一人の複数記入ならびに 19 名以上の記載は無効票として取り扱いますので、ご注意ください。選出は得票数の多い順に 18 名までを理事として決定し、18 名を決定する際に同じ得票数となった候補者が複数名いる場合には生年月日が若い順に当選とします。

開票は、選挙管理委員が選挙立会人の立会いの下、厳正な開票作業を実施し、次期執行役員を確定します。

選挙に関するお問い合わせは選挙管理委員会事務局 (itca-election@umin.ac.jp) までご連絡下さい。